

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 79 号

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成 30 年 7 月 25 日



▲「人間（じんかん）固（もと）より無事」嶺興嶽老大師

人二六六六人が出るという大地震だったようです（総務省消防庁のデータより）。良寛さんは、子どもを亡くした山田杜阜（俳人）に見舞いの言葉を送り、次の言葉を書き込んでいます。

「災難に逢う時
節には災難に逢うがよく候 死ぬ節には死ぬがよく候 これはこれ災難をのがるる妙法にて候」
災難に逢ったら逃れられない、死ぬ時が来れば死ぬしかない、これが災難から逃れる秘訣と良寛さんは言うのです。子どもを亡くした親に対する手紙としては、何とも冷たいというか、誤解を受けかねない言葉です。地震が招いた災害を不運と嘆くよりも、その災害を事実として受け入れることが肝要ということでしょうか。生まれてきたからには、老病死は避けられない、あるがままを受け入れて、今自分ができることを一生懸命やりなさいという、良寛さんの優しさが見えられます。

一方、この災害で受けた災難に止まらず、自然災害は人間が完全に制御できるものではない、という戒めも含まれてはいないでしょうか。
平成に入って最悪の被害となった西日本を中心とする豪雨災害では、死者200人を超える大惨事となりました。未だ安否不明者も多く、復旧への見通しも立たず途方に暮れる人々が多くあります。現地に駆けつけて復旧作業に励むボランティアも多くおられますが、私たちもそれぞれの場所で、災害物故者供養と早期復旧を祈らずにはおれません。

室町時代、戦国時代の第百五代・後奈良天皇は、天文9年（一五四〇）に日本各地に蔓延した疫病終息を発願して般若心経の写経を行い、「人々に幾ばくかでも疫病の妙薬になってくれればと切に願う」と祈り続けたそうです。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の方々に謹んでお悔やみ申し上げます。また、被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を祈念申し上げます。



大阪北部地震、西日本豪雨災害により被災された方々へお見舞い申し上げます



▲晋山上堂式＝5月27日、法堂にて



▲入山式＝4月1日（写真はいずれも妙心寺 facebook より転載）

10時半には参列者約1千人が見守る中、法堂へ入堂され晋山上堂式（しんざんじょうどうしき）が挙行されました。任期は4年間で、これから様々な公務に励まれ、妙心寺派全体を総攬（そうらん）されます。



▲小倉宗俊管長猊下

妙心寺派新管長が就任されました

第35代管長 小倉宗俊老大師

臨済宗妙心寺派の管長が、本年4月1日で交代されました。新たに管長に就任されたのは、愛知県犬山市にある瑞泉僧堂（ずいせんそうどう）の師家（しけ）（修行僧の指導者）、小倉宗俊老大師です。妙心寺では去る4月1日に入山式を、続いて5月27日には妙心寺派第35代、小倉宗俊管長猊下（ぜいか）の晋山式（しんざんしき）が盛大かつ厳粛に執り行われました。当日は快晴で、新管長猊下は午前5時から山内で様々な行事に臨まれ、午前



▲コンクリートで固められた石段



今後は、玄関先の境内地からの土砂流出を止めるために、コンクリート化しようと考えています。

をおかけいたしました。

本年度お願いしました臨時費の使途のひとつ、松禪寺正面石段の修復工事が6月4日から始まり、7月10日に一応完了いたしました。雨などによって流れ出た土砂が石を覆っていましたが、きれいに土を取り除いて石を洗い、セメントで固める作業が炎天下の下で続きました。手間のかかる作業で、長い期間ご不便

石段改修工事が終わりました



▲餅をお供えして法要を執り行いました＝7月8日、薬師堂

薬師祭は大雨特別警報でイベントを中止 法要のみ執行し 平和復興も祈願

毎年恒例の薬師祭（7月8日開催予定）を間近に控えた7月6日（金）22時50分に、兵庫県に大雨特別警報が発表（7日18時10分に解除）されたため、ふるさと委員会会長（西垣章一氏）と協議した上で、薬師祭の各イベントを中止いたしました。

栗尾村各戸より奉納された餅米はすでに洗米していたため、7日（土）14時より栗尾ふ

るさと委員や有志など20名余りの皆さんで餅搗きを行いました。軒下など雨をしのぎながらの作業でしたが、皆さん手際良く約55キログラム（16臼）の餅米を搗きあげました。

搗きあげた餅は、8日（日）の午前8

時から栗尾ふるさと委員と有志で袋詰めをしました。法要後に、栗尾各戸に配布させていただきました。

法要は、午前9時から区

長さん、栗尾ふるさと委員、

薬師祭

松禪妙境雨余天
大祭令辰勝因縁
栗尾薬師如来佛
諸難災除得安全

松禪の妙境 雨上がりの天
大祭令辰 勝因縁
栗尾村の薬師如来佛
諸難災除 安全を得たる



▲降り止まぬ雨のなかの餅つき＝7日

有志の皆さんのお参りをいただき、薬師堂で法要を行いました。すでに警報も解除されてはいましたが、不安定な空模様のもと無事にお勤めもでき安堵いたしました。

「福慧増長し心身安樂にして諸縁吉祥

ならんことを」と祈願する薬師祭です

が、今回の大雨によって多くの尊い命が奪われました。ご冥福をお祈りするとともに、平和復興も祈願いたしました。

第1回境内掃除に15名参加

評議員総会で承認可決された本年度の事業



▲花園会長さんの挨拶で作業を始めました＝5月20日

の内、第1回の境内掃除を5月20日（日曜日）、午前8時から約2時間にわたって行っていました。今回の参加対象地域は、上山根、下山根、貝田、中路、宮本、櫻谷で、評議員6名、有志4名、さらに総代5名も加わって、草刈りなどを中心に境内の美化に努めました。初夏となって草もよく延びており、お陰様で気持ちのよい境内となりました。

第2回の境内掃除は、7月29日（日曜日）午前8時開始です。よろしく願います。

施餓鬼会は、お釈迦様の十代弟子のお一人、阿難尊者の故事により、飲食供養の功德により亡者を救う行事として起こったものです。「餓鬼に施す」と書きますが、餓鬼とは六道（地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人間道、天道）のひとつで、苦しみの世界であり、食べ物がない飢えの世界なのです。しかも、餓鬼は自分の力で餓鬼世界から抜け出すことができないため、施餓鬼供養がその救いの道とされています。有縁はもとより、無縁の衆生に対しても供養する法要であり、自分自



平成 30 年度 施餓鬼会日程

8 月 7 日（火）午前 10 時

順番	目安時間	施主（敬称略）	住所
1	10:00	山門施餓鬼、添施餓鬼	
2	10:15	杉山 智英	日高町
		渡辺 富夫	本 城
		西垣 有朋	上山根
		横谷 義裕	大 貝
3	10:45	渡辺 寛亨	堺 市
		柴田 嘉代子	下 陰
		西垣 雅博	上山根
		西 淳市	江 本
4	11:15	松下 弘子	明石市
		三浦 三郎	佐 田
		西垣源正	上山根

身に与えられた生命に感謝する意味合いもあります。今年も多数の和尚様により法要を執り行います。施餓鬼はもともと初盆など特定の霊を供養するだけのものではなく、ご先祖様を始め、志す精霊にご供養することによって施主皆様の現世安穩が得られるといわれています。ぜひ、ご家族お揃いでお参りください。添施餓鬼にて先祖供養の塔婆をご希望の方は、8月5日までに松禪寺へ直接お申し込みください。

なお、施餓鬼会の日程と今年初盆を迎えられる方は左表のとおりです。

平成 30 年 棚経の日程

棚経実施日	地 域
8 月 9 日（木）	清滝→本城→柴地→山根→貝田
8 月 10 日（金）	久畑→石原→佐田→大貝→平田→佐々木
8 月 11 日（土）	南尾→（施餓鬼会出頭）→出石町（午後）
8 月 12 日（日）	豊岡市→福知山市→岩滝
8 月 13 日（月）	西谷

まもなくお盆を迎えます。お盆は、普段から何も催促なさらないご先祖さまとの語らいの時でもあります。8月13日が迎え火にあたり、16日が送り火です。お墓をきれいに掃除して、ご家庭では仏壇を丹念に掃除して、お花、ろうそく、お線香、果物、お菓子、季節の野菜などを供えます。

お寺からは、8月9日から13日まで、棚経といって各檀家を廻って回向いたします。下表の日程で参る予定ですが、諸般の都合から急遽変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。朝から廻りはじめますが、後半は午後になります。